



—5・6年生新教材 “We Can!” をななめ読み(その3) —

これが6年生用新教材 “We Can!2”

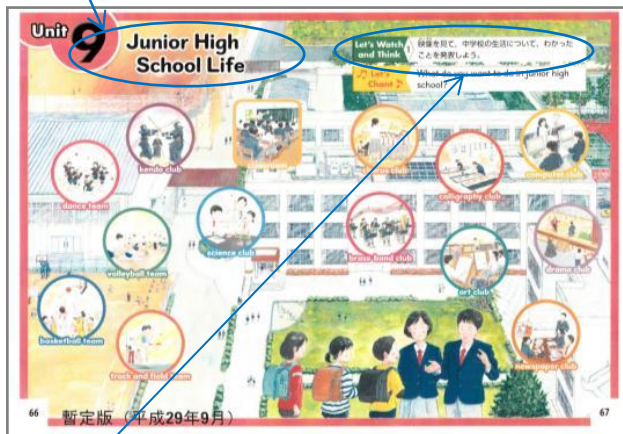
新教材 “We Can!” の「ななめ読み(その3)」, 今回は, “We Can!2” (6年生用) を見てみましょう。



新教材 We Can! では, 「話したいと思う内容を, 文法的にも正しい表現で伝え合うことができるように」という視点がより強くなったという見方ができます。この Unit5 My Summer Vacation がそうです。「〇〇に行ってきたよ! 〇〇したんだよ! 」と思い出を伝え合うときに「過去形は必要でしょう」ということです。この Unit では, 「過去の表現の仕方が分かり, 夏休みの思い出について自分の考えや気持ちを伝え合う」という活動が求められています。

Hi, friends!2 では, L8 「夢宣言をしよう」が最終単元でしたが, We Can! では, Unit9 Junior High School Life が最後です。
中学校との接続により配慮した単元が設定された形です。

1Unit の時数自体が増えているので, 活動例も増えているのは当然と言えば当然ですが, 小学校段階の初期の英語学習では, 「良質の英語のインプットを増やすことが大事」という考え方に基いて, このように多くの活動例があるという見方もできそうです。



We Can! では, Let's Watch and Think という新しい活動例が載っています。映像資料はHi, friends! にもありましたが, 「映像を見て・聞いて」, それから「考える」という活動です。できるだけ多くの「五感」を使って英語に触れさせるといいう考え方が見えてきます。

次回は, 移行措置期間における Hi, friends! と新教材 We Can! の具体的な単元の時数配分等の情報についてお伝えします。